

<実施方法・内容概要>

- 投稿戴いた動画による事前プレゼン、打上実験、事後プレゼンにより評価を行います。
- 事前プレゼン作成・投稿、実験機体の製造費、実験機体の輸送に係わる費用、実施会場までの交通費並びに滞在費、事後プレゼン作成に関する経費は、参加校側にてご負担戴きます。
- 事務局側費用にて、事前プレゼンの投稿サーバ準備、実験に利用するモデルロケットエンジンの購入および消費申請、審査員謝金および事前プレゼン / 実験 / 事後プレゼン実施を行いますので、参加校側にこの部分の負担はありません。
- 全国大会優勝チームには、2024 年度 6～7 月に欧州で開催される Cansat Challenge への参加推薦を行います(ただし参加の可否は主催者である ESA が決定します)。参加に係わる旅費他の費用は、参加チーム負担となります。
- プレゼン資料および実験風景 / ネットプレゼンは公開します。また欧州大会等への御参加時の写真・動画も公開することがあります。またその他国内広報のための取材等も行いますので、御了承の上御参加下さい。

<規則>

(参加)

- 参加は 1 校から 1 チームのみ受け付けます。1 チームは参加校に在籍する高校 1 年生～3 年生 4 名から構成されることとします。(それ以上 / 以下は認めません)
- 参加校数は全体として 10～15 校を目安に上限を定めます。全国大会への参加校は、各地方大会事務局の推薦により決定します。各地方大会事務局の有する推薦枠は、それぞれの参加校数に準じて決定します。
- 12 月 30 日までに参加校を決定し、御連絡します。
- 各地方大会事務局は、それぞれの地方大会参加×切後速やかに、参加校を全国大会事務局まで御連絡ください。
- 参加校は全国大会実施決定後、全国大会実施事務局に参加申込書、メディア露出承諾書などを指定の方法(文末参照)にて提出してください。

(事前プレゼン)

- 2 月 2 日午前 9 時×切とします。
- 後述する web サイトに、インターネットを使ってオンライン投稿戴きます。その後、オンラインビデオ配信(缶サット甲子園サイトに掲載)を行います。

- 動画にて「自分達が実施する予定のミッション」に関して、**10分以内**で明確に御説明ください。「ミッションの目的および意味 / 意義」、「缶サットの構造 / 仕組み」、「期待される成果」などに関して説明されていることが望ましいです。
- ミッション概要書類等を附属していただいてもかまいません。

(全国大会)

- 2月10日～2月12日に、鹿児島県肝付町で実施します。詳細は後日実施規則に追加します。
- 缶サットのサイズは例年と同じく、以下のレギュレーションに従ってください。
 - **缶サットの全体サイズ(パラシュート他不の付属部品含む)**は外形 φ68mm 以下、高さ124mm 以下とする。
 - **缶サットの総重量(パラシュート他不の付属部品含む)**は250g 以上 300g 以下とする。
 - 缶サットには必ず、パラシュートなどの減速機構を取り付けること。ただし全体構造として落下速度が以下を充たす場合は全体構造が減速機構を兼ねていると認める。
 - 缶サットの落下速度は5m/s 以上 10m/s 以下とする。
- 実験に使用するロケットは自作でも既製品でも構いません。

※打上実験に使用するロケット本体は、「理数が楽しくなる教育」実行委員会では斡旋していません。(実験に使用する機体を制限すると、公正取引に反するとのことで会計検査院の検査対象となります)

ただし、以下で販売されていることを確認していますので、必要があれば各校からお問い合わせくださいまた下記以外でも製造されているところがあれば御連絡ください。今後、併せて案内いたします。

(有)オービタルエンジニアリング

<http://www.orbital-e.co.jp/>

(株)うちゅう

<https://uchu-next.space/>

- 打上に使用するロケットは、例年と同じく以下のレギュレーションに従ってください。
 - 缶サット打上用のモデルロケットは、規定を満たす既製品、あるいは自作機体を利用するものとする。
 - 自作機体の場合は、事前に**空力中心・重心等を算出し、機体にその位置がわかるように明記**すること。また空力安定による機体安定を計算し(Csm)、仕様書に記述すること。Csmは1.5以上とすること
 - 使用するエンジンはC11-3の3本クラスとする。
 - 打上げ用ロケットおよび付属品の落下速度は5m/s 以上 10m/s 以下とする。(この落下速度を護っていれば、特に減速機構が取り付けられていなくても良い)
 - 缶サットを搭載する**ロケットのペイロード室サイズは内径76mm 以下、全長175mm 以下**

とする。（ロケット側のペイロード室がこのサイズ以上の場合には失格になります。仕切板等で、このサイズに納まるようにしてください。）

- 全国大会にて、機体審査を行います。規定に満たない場合は打上げが出来ませんので御了承ください。
- 2023 年度は、缶サット・打上用ロケット共に無線機器の搭載は認めません。またロケット / 缶サット以外の物の外部設置は認めますが、1 月末までに実施方法などを御連絡ください。

（事後プレゼン）

- 全国大会の開催期間中に実施を予定しています。詳細は後日、実施規則に追加します。

（広報等）

- 千葉工業大学と協力し、広報活動を実施します。広報を実施する企業 / 団体等から取材等の依頼がありますので、御協力ください。
- 関連してファイルを送信する場合は、後述する方法にて、web よりアップロード下さい。

<ファイルのアップロード方法>

正式な参加申込書類（参加申込み書・メディア露出承諾書）・事前プレゼンの動画ファイル、参加校紹介のための資料などのファイルの提出は、全て以下の方法で御投稿下さい。

web ブラウザより以下にアクセスして行ってください

<https://gnss01.crea.wakayama-u.ac.jp/s/fQWoAkFeimFQaNm>

アップロードの際に、ファイル名を「学校名_内容_日付」として、zip ファイル等にまとめてアップロードしてください。

例: ○○高校_事前プレゼン_20230201.zip

アップロード後に修正する場合は、日付を変えてアップロードしてください。

×切の後に、最新の日付の物だけを採用します。

ファイル名中の「内容」は、以下を参照にして下さい

- A) 参加申込書類: ファイル名中の内容名部分を「参加申込み書類」としてください。
- B) 事前プレゼン: ファイル名中の内容名部分を「事前プレゼン」としてください。
- C) 各団体の紹介: ファイル名中の内容名部分を「団体紹介」としてください。

<本規定に関しまして>

本規定は事務局および参加校との調整により、今後内容を改定することがありますので御了承ください。